

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-3-1 人権施策の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	人権同和教育課長 恩田 克幸	電話番号	0852-22-5495
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	地区内学習推進事業			
目的	(1) 対象	同和地区住民及び地区内学習推進者（市町村の人権・同和教育担当者を含む）		
	(2) 意図	同和地区における自主的な教育・文化活動を促進し、教育・文化の向上を図ると共に、同和地区内外の交流活動の推進を図る。地区内学習グループリーダー及び地区内学習推進者等の指導者としての資質の向上、実践力の育成をめざすと共に、同和問題の早期解決をめざして地区内学習活動・実践の促進を図る。		
事業概要	・人権・同和問題の解決のために活動している地区内学習グループのリーダー養成と活動の活性化を図るために、人権・同和教育促進講座を開催する。			

2. 成果参考指標

(1) 指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			地区内学習研修会及び講座の参加者数	目標値		80.00	80.00		80.00
			実績値	93.00	132.00	106.00	128.00		
				達成率		165.00	132.50	160.00	%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			地区内学習研修会及び講座の参加者数	目標値		0.00	0.00		
			実績値	0.00	0.00	0.00			
				達成率		0.00	0.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	432	432
うち一般財源(千円)	432	432

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・人権・同和教育促進講座を実施することで、人権・同和問題解決のために活動している地区内学習グループの活動意欲を高め、各グループ同士のネットワークづくりにつながっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・受講者のニーズに応える講師選定をしたことにより、受講者の参加意欲が高まった。
 ・受講者の実態を踏まえたテーマ設定や研修内容を工夫したことにより、今後の活動意欲を高めることができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・地区内学習グループの活動状況に差が生じている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・講座の進め方等が画一化しており、グループの活動の活性化につながっていない。
- ③原因を解消するための「課題」
- ・グループの実態を踏まえ、人権・同和教育促進講座の研修内容や研修方法を工夫することで、リーダー養成やグループの活性化につなげていく。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・各地区内学習グループの活動の成果と課題を確認するとともに、各グループが人権・同和問題解決に向けて積極的に活動をしていくために、リーダーの養成や活動の方向性を再検討するための支援を行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）